

会員行の2019年度決算の概要について

〔 2020年6月30日
一般社団法人 第二地方銀行協会 〕

会員行の2019年度決算（単体）の概要は以下のとおり。

※計数は2020年3月末時点の会員行38行ベース（特記ある場合を除く）。

（単位：億円、％）

○損益の状況

	2019年度	前年度比 増減額	前年度比 増減率
業務純益	1,618	13	0.8
コア業務純益	1,604	△ 107	△ 6.3
コア業務純益 （除く投資信託解約損益）	1,436	-	-
資金利益	6,996	△ 168	△ 2.3
貸出金利息	5,719	△ 102	△ 1.8
有価証券利息配当金	1,494	△ 117	△ 7.3
役務取引等利益	666	△ 17	△ 2.5
国債等債券関係損益	172	276	-
経費（△）	6,097	△ 90	△ 1.5
一般貸倒引当金繰入額（△）	158	157	15,700.0
臨時損益	△ 537	△ 563	-
個別貸倒引当金繰入額（△）	394	131	49.8
株式等関係損益	△ 23	△ 382	-
貸倒引当金戻入益	17	△ 7	△ 29.2
経常利益	1,080	△ 551	△ 33.8
特別損益	△ 6	44	-
当期純利益	723	△ 456	△ 38.7

・業務純益：微増

資金利益の減少続くが、経費減少と国債等債券関係損益の増益により全体としては微増。

（資金利益：減益）

貸出金利息および有価証券利息配当金が共に減少し減益。

（役務取引等利益：減益）

保険窓販手数料の減少を主因として減益。

（経費：減少）

人件費を中心に減少。

・経常利益、当期純利益：減益

株式等関係損益の悪化、与信費用の増加を受け減益。

・与信費用：増加

貸倒引当金繰入額が一般・個別共に増加。

与信関係費用合計（△）	667	314	89.0
-------------	-----	-----	------

※2019年度は、徳島銀行及び大正銀行の2019年4～12月の計数と徳島大正銀行の2020年1月～3月の計数を単純合算したものを計上。

○預貸金の状況

	2019年度末	前年度末比 増減額	前年度末比 増減率
預金	624,209	10,011	1.6
貸出金	493,350	11,884	2.5

・預金、貸出金：増加

預金、貸出金共に増加。

・金融再生法開示債権比率：横這い

開示債権額自体は増加。

○不良債権の状況

	2019年度末	前年度末比 増減額/変化幅	前年度末比 増減率
金融再生法開示債権額（A）	9,477	353	3.9
総与信（B）	500,112	12,259	2.5
金融再生法開示債権比率（A/B）	1.89	0.02	

・単体自己資本比率：横這い

自己資本額及びリスクアセット共に増加。

○単体自己資本比率

	2019年度末	前年度末比 増減額/変化幅	前年度末比 増減率
自己資本額	31,526	626	2.0
リスク・アセット合計	337,434	6,508	2.0
自己資本比率	9.34	0.01	

注：国際統一基準行（1行）を除く国内基準の37行ベース。

【本件に関するお問合せ先】

企画部：上田、白木

TEL：03-3262-2181